

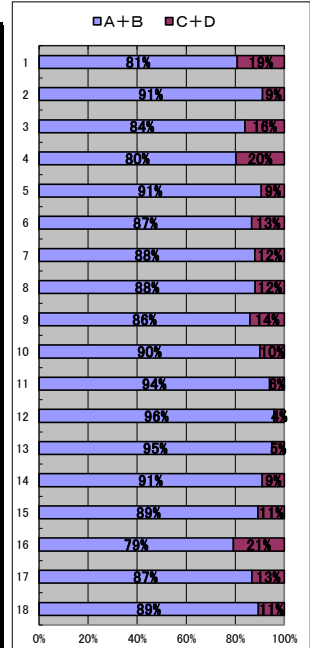
令和元年度後期の学校づくりに向けて —前期学校評価結果のおしらせ—

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。遅くなりましたが、評価の結果は下記の通りです。概ね良い評価となりましたが、更に改善が必要との結果を真摯に受けとめ、今後の学校づくりを進めてまいります。さらに、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

評価項目	評価				評価			割合		昨年度後期		
	A	B	C	D	A+B	C+D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	
学習自己評価	1 授業開始3分前に着席し、授業の準備をしている。	97	265	80	6	362	86	448	81%	19%	84%	16%
	2 授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートを書いていねいに取ったりしている。	204	203	32	8	407	40	447	91%	9%	89%	11%
	3 宿題や提出ノートは毎日提出している。	205	167	54	17	372	71	443	84%	16%	83%	17%
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	80	278	80	8	358	88	446	80%	20%	75%	25%
	5 先生方の授業はわかりやすい。	142	262	35	7	404	42	446	91%	9%	88%	12%
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	155	230	51	8	385	59	444	87%	13%	85%	15%
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	148	241	46	7	389	53	442	88%	12%	83%	17%
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	241	152	39	14	393	53	446	88%	12%	87%	13%
	9 さわやかなあいさつができています。	193	190	52	10	383	62	445	86%	14%	85%	15%
	10 時間を守った生活ができています。	133	268	40	4	401	44	445	90%	10%	91%	9%
	11 友達の良いところを考えた行動をしている。	181	237	24	3	418	27	445	94%	6%	94%	6%
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	268	158	17	2	426	19	445	96%	4%	96%	4%
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。	257	165	19	4	422	23	445	95%	5%	92%	8%
生活評価	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	217	186	35	5	403	40	443	91%	9%	92%	8%
	15 部活動(またはそれに代わるもの)に意欲的に取り組んでいる。	288	96	23	23	384	46	430	89%	11%	83%	17%
	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	155	195	67	25	350	92	442	79%	21%	82%	18%
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	146	237	51	7	383	58	441	87%	13%	83%	17%
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	204	191	42	5	395	47	442	89%	11%	86%	14%
平均					391	53	平均	88%	12%	87%	13%	

全校の在籍生徒数512名



○昨年度後期の割合と比較して、ほぼ同じA+Bの割合が増えている。また、A+Bの割合が総じて高く、本校の生徒が良い状況で学校生活に取り組んでいる様子がうかがえる。

○そのような中で、項目1については昨年度後期と比較してA+Bの割合がやや減少している。

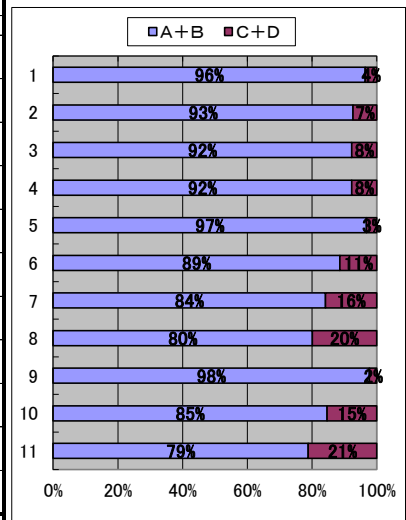
○項目16が他の項目と比べてやや数字が低い傾向にあり、昨年度後期と比較してA+Bの割合も減少している、この点については我々教員集団がきちんと検証し、後期に努力しなければならないと思われる。

○昨年度より、体罰については記述する方式に変更したが、この点に関して生徒の記述は無かった。

教育に関するアンケート集計(保護者)

項目	評価				割合			昨年度後期	
	A	B	C	D	A+B	C+D	合計	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、学校要覧、講話など)	115	102	7	1	225	96%	4%	96%	4%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	86	117	14	2	219	93%	7%	90%	10%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	93	110	14	3	220	92%	8%	91%	9%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	109	95	15	2	221	92%	8%	93%	7%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	142	71	7	0	220	97%	3%	97%	3%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	104	91	19	6	220	89%	11%	81%	19%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	73	113	31	4	221	84%	16%	80%	20%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	64	113	34	10	221	80%	20%	77%	23%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	141	75	3	2	221	98%	2%	95%	5%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	139	43	5	28	215	85%	15%	80%	21%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	38	133	40	6	217	79%	21%	73%	27%
平均					220	90%	10%	87%	13%

全校の家庭数459戸



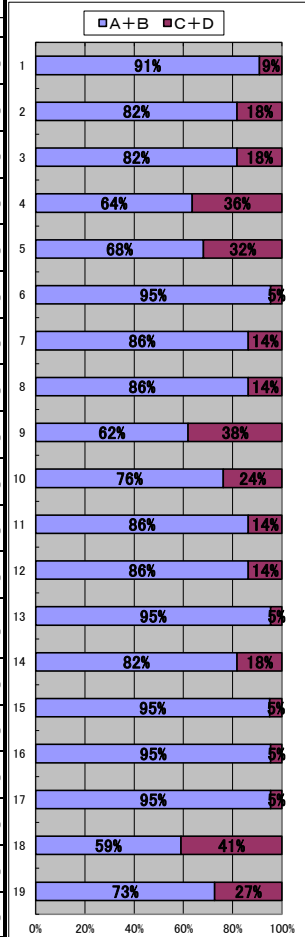
○昨年度後期と比較して概ねA+Bの割合が向上しており、その割合も高水準であることから、本校の教育活動について概ね保護者の皆様の理解を得られているものと考えられる。しかしながら、この現状に甘んじることなく、職員一同生徒のためにさらなる努力を重ねたいと考えています。

○体罰については生徒のアンケート同様に本年度から記述する方式に変更したが、この点に関しては保護者の記述は無かった。

教育に関するアンケート集計（教職員）

回答職員数22名

領域	具体的方策	評価					評価		割合		昨年度後期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教 育 活 動	1 1時間ごとの授業や単元でのつる力の明確化。	8	12	2	0	22	20	2	91%	9%	91%	9%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	2	16	4	0	22	18	4	82%	18%	87%	13%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	3	15	4	0	22	18	4	82%	18%	78%	22%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	5	9	7	1	22	14	8	64%	36%	52%	48%
	5 自分の姿を追求するための体験を通じた授業	4	11	7	0	22	15	7	68%	32%	65%	35%
	6 五人中権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	4	17	1	0	22	21	1	95%	5%	91%	9%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	3	16	3	0	22	19	3	86%	14%	91%	9%
	8 意見を言い合える場の設定	3	16	2	1	22	19	3	86%	14%	91%	9%
	9 朝の読書、読書時間中の一斉読書の推進	5	8	7	1	21	13	8	62%	38%	67%	33%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	3	13	5	0	21	16	5	76%	24%	87%	13%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	5	14	3	0	22	19	3	86%	14%	88%	13%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	6	13	3	0	22	19	3	86%	14%	91%	9%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導(よ〜く観る, よ〜く聴く)	11	10	1	0	22	21	1	95%	5%	100%	0%
学 校 運 営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	8	10	3	1	22	18	4	82%	18%	92%	8%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	13	6	1	0	20	19	1	95%	5%	100%	0%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	10	11	1	0	22	21	1	95%	5%	100%	0%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	8	13	1	0	22	21	1	95%	5%	91%	9%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	1	12	8	1	22	13	9	59%	41%	86%	14%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	6	10	4	2	22	16	6	73%	27%	75%	25%
					平均	18	4	85%	15%	91%	9%	



○全体的に昨年度後期と比較して辛口の評価をした先生方の割合が高くなっている。
 ○学習指導においては、評価や体験的学習に課題を感じている職員の割合が高い。新教育課程の実施に向け努力していきたい部分かと思われる。
 ○本校では5分間の朝読書を実施しているが、毎朝の学年毎の職員の打ち合わせの内容が多く、読書時間までずれ込んでしまうことも多い。職員が朝読書指導に専念できる工夫を考えていきたい。
 ○それぞれの職員が学習指導以外の様々な業務を抱えており、職員相互の授業参観や研究の時間がなかなかとれない。個々の職員が学習指導の力量を高められるよう、授業研究の時間を生み出す努力をする必要がある。

<令和元年度前期の学校評価の集計ができましたので、つぎの6点に絞ってご報告いたします。>

☆詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価→学習に向かう姿勢作りと基本的な学習習慣の定着をめざす工夫を続けていきます。
 - 2 生徒の生活自己評価→楽しい学校生活を継続していくために、今後も生活の三重点を意識した生活作りに努めていきます。
 - 3 生徒の授業評価→授業の始まりを大切に、じっくり自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場面を増やす工夫をします。
 - 4 保護者の学校評価→概ね本校の取り組みにご理解をいただいていると思います。さらに生徒や保護者、地域に開かれて学校作りに努めます。
 - 5 保護者の生徒の生活評価→分かり易い授業であるとともに、学びが結果に結びつく授業をめざし、授業力の向上に努めていきます。
 - 6 学校自己評価→教師自身による評価です。生徒一人一人の個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指していきたいと思えます。
- なお、この集計結果は、学校評議員やPTA三役にもお示しし、更に「学校関係者評価」としてご意見や提言をいただいたものをまとめ、設置者である上田市教育委員会にも報告し、学校ホームページでも公開します。

☆アンケートへのご記入をいただき、ありがとうございました。また、自由記述欄にもたくさんのご意見をいただきました。今後の学校運営の参考にさせていただきます。